

自分の責任で自由に遊ぶ

放課後遊ぼう会

認定NPO法人 放課後遊ぼう会

理事長 足立 典子

地域の小学校で

子どもたちがいつでも誰でも

自分の責任で自由にいきいきと遊べる

毎日の放課後の遊び場づくり

放課後遊ぼう会の歩み

平成13年(2001年)

ボランティアグループ「放課後遊ぼう会」を立ち上げ
宝塚市立仁川小学校で遊び場開催を始める。

平成15年(2003年)度～

兵庫県「子どもの冒険ひろば」事業を受ける。

プレイリーダーがいる、自分の責任で自由に遊ぶ
毎日の遊び場開催開始。他校にも活動を広げる。

平成19年(2007年)度～

宝塚市「放課後子ども教室推進事業」を受ける。

平成22年(2010年)2月

「NPO法人 放課後遊ぼう会」設立

昨年度の7校全体の活動実績

開催回数 455回

延べ参加者数 25,482人

平均参加者数 56.0人

7校の登録ボランティア 226人

放課後遊ぼう会の職員

プレイリーダー 11人（うち2人は事務兼務）

事務職員 3人

小学校で遊び場を開催するメリット

- 学校から直接参加できるため参加しやすい
- 保護者にとって安心感がある
- 多くの公園で禁止されている遊びができる
- 子どもたちの声が近隣の苦情になりにくい
- 室内でも開催できる場合がある
 - 遊びの幅が広がり、宿題もできる
 - 天候に左右されずに開催できる
 - 居場所を必要とする子どもたちの居場所
- 学校・PTAと連携しやすく、広報しやすい
 - 学校・保護者・地域が協力して子どもを育てる